

# 池浦町内会「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰

池浦町内会長の木村さんと顧問の松尾さんに表彰されるに至った経緯など、お話を伺いました！当日は、月2回のホットサロンの日で、多くの方がお茶を飲み、お喋りに花が咲いていました。

## 「みどりの愛護」受賞！

花と緑の愛護に特に顕著な功績のあった団体にその功績をたたえ国民的運動としての緑化推進活動の模範として全国103団体愛知県4団体が国土交通大臣より表彰され市内の池浦町内会が受賞されました。

## 活動内容は？

年2回の花の植え替えと月2回の清掃、年3回の除草によってきれいな花壇として、町内の子ども会からお年寄りまで幅広い年齢層の方々が参画活動することにより、街ゆく人の心にうるおいを与える花壇になっています。

## いつから活動を始めたの？

20年前、愛知国体(わかしゃち国体)時に選手を迎えるにあたり、名鉄西尾線を綺麗にしようと前年に池浦公園愛護会を結成しました。当時は、やせた土地でチップ堆肥を混ぜ土づくりからと大変な作業でした。

## 活動の参加者は？

町内会主導で、寿クラブ・老人クラブ・実年会・婦人防火クラブ・21世紀の会・すすらん会・せせらぎの会・子ども会・ワイワイクラブ親の会・組長の会・厄年会の方々が分担、無理なく活動しています。

## — 活動の様子 —



子どもからお年寄りまで  
誰でもできるボランティア活動



## インタビューの感想

安城で初めて「青パト活動」を始めたのも池浦町内会で、10年の歴史があるなど、様々なところに町を愛する心が町内会誌「ふれあい」の中からもうかがえました。

人とひとがふれあい地域の絆を深め、それぞれの団体が、できる範囲で活動、参画できる優しさと思いやりの心をもった、町を愛する気持ちにあふれた町内会であることが、表彰に繋がったと感じました。



編集委員